

## 第 2 回 那賀川水系流域委員会 議事要旨

日 時	令和 6 年 2 月 6 日 (火) 11:00~15:30
場 所	松崎町役場 環境改善センター2F 研修室
出席者 職・指名	委員長：田中 博通 (東海大学 名誉教授) 委 員：早川 宗志 (ふじのくに地球環境史ミュージアム 准教授) 委 員：高井 則之 (日本大学生物資源科学部 教授) 委 員：土屋 和大 (静岡県賀茂農林事務所 技監兼農村整備課長) 委 員：山本 一詞 (那賀川非出資漁業協同組合 組合長) 委 員：山本 公 (松崎町文化財保護審議会 会長) 委 員：土屋 宗三郎 (松崎消防団 団長) 委 員：佐野 祐作 (松崎地区 区長代表) 委 員：金刺 英夫 (岩科・三浦地区 区長代表) 委 員：深澤 準弥 (松崎町 町長) 事務局：下田土木事務所、静岡県庁 ほか
議 題	(1) 「那賀川水系流域委員会」設置要綱等の変更 (2) 流域及び河川の現状と課題について 河川の現地視察について (3) 河川整備の目標について (4) 今後の予定について
配布資料	資料 1-1：出席者名簿 資料 1-2：座席表 資料 1-3：設立趣意書 資料 1-4：設置要綱・傍聴要綱 資料 1-5：設置・傍聴要綱の新旧対照表 資料 2：説明資料(流域及び河川の現状と課題) 資料 3：説明資料(河川整備の目標) 参考資料 1：現地視察資料 参考資料 2：那賀川水系の河川整備基本方針

### 1. 審議事項

- ・「那賀川水系流域委員会」設置要綱等の変更について
- ・流域及び河川の現状と課題について
- ・河川の現地視察について
- ・河川整備の目標について
- ・今後の予定について

## 2. 議事内容

### ■議事「那賀川水系流域委員会」設置要綱等の変更について」

#### 【事務局】

- ・委員一同、異議なし
- ※令和6年2月6日付で施行。

### ■議事「流域および河川の現状と課題について」

#### 【事務局】

- ・委員一同、異議なし

### ■議事「河川の現地視察について（事前説明）」

#### 【事務局】

- ・委員一同、異議なし

### ■議事「河川の現地視察について」

#### 【委員】

- ・防潮堤の全長と整備期間を確認したい。

#### 【事務局】

- ・防潮堤の全長は約700m、整備期間は議事3にて説明・回答する。

#### 【委員】

- ・感潮区間、平常時の水深、宮の前橋付近の堆積土砂による河積阻害等への影響について確認したい。

#### 【事務局】

- ・感潮区間は宮の前橋上流まで、平常時の水深は50cm以下であり、河床が確認できる。
- ・宮の前橋付近の堆積土砂については、河道掘削による土砂撤去等を行っている。

#### 【委員】

- ・（準）朝倉沢川との合流部に土砂が堆積しているが、流れへの影響はどうか。

#### 【事務局】

- ・合流部付近での土砂堆積はあるが、中州として堆積しており、流入阻害等はないと考えている。

### ■議事「河川整備の目標について」

**【委員】**

- ・防潮堤の1.5m嵩上げを実施することについて、事業の着手時期を教えてください。
- ・津波による浸水被害について、30年のうちに80%以上の確率で発生する予測であることから、早期対応を要望する。

**【事務局】**

- ・現在、令和6年度の工事着手を目指し、設計を進めている。概ね5年以内の完成を目指している。

**【委員】**

- ・地球温暖化による河川水や海水の温度上昇や、河道掘削による瀬や淵の消失により、アユの生育について影響が生じていると感ずることから、河川環境に配慮して頂きたい。

**【事務局】**

- ・県民の生命と財産を守るという本質・目的を持ちつつ、地元住民の意見も聞きながら、生態系や環境に配慮した河川整備を進めていく。

**【委員】**

- ・青野川、河津川、稲生沢川の水温データについて、観測位置を教えてください。

**【事務局】**

- ・河口から1.0kくらいの範囲で測定した結果である。

**【委員】**

- ・河口付近で観測している場合、測定する水深や時間等によっても変化する。アユの産卵場についても、もう少し上流側であると考えられるため、比較対象としてはあまり妥当ではないと考える。

**【事務局】**

- ・ご意見を踏まえ、計測方法について検討する。

**【委員】**

- ・能登半島地震などでは、漁港の船が沈没したりするなどの被害があったと認識している。那賀川河口においても係留船があることから、地震時の市街地への影響や管理体制について教えてください。
- ・那賀川流域上流の山林が荒廃しており、河川への土砂流出などが生じることから、治水および治山の確実な実施をお願いしたい。

**【事務局】**

- ・現在は、漁船への許可が出ており、係留施設となっている。将来的には河川の外側に係留施設を移動することを考えており、検討を始めたところである。

**【委員】**

- ・森林の荒廃に対しては、森林整備や治山に関する事業を、地元の要望等も踏まえ、土木事務所と一体となって進めていく。なお、現在、県産木材生産も活発になっており、伊豆市での貯木場の設置による合板工場への輸送など、木材利用促進も含めた取組も実施している。

**【委員】**

- ・現在、那賀川水系には農業用の取水施設が 36 箇所ある。その中で、頭首工がない取水口も数か所あり、河床掘削等の影響により河床が低下し取水が困難となっているという要望聞いている。河道掘削等による治水安全度を確保する場合、利水・環境なども配慮し、必要な場所の河床維持を行うなどの河川管理を行って頂きたい。
- ・頭首工等の取水施設により、治水上の問題が生じている場合は、施設の改修事業等も進めることが可能なため、土木事務所と農林事務所が一体となって川づくりを進めていきたい。

**【委員】**

- ・現在設置されている陸閘について、防潮堤の嵩上げに際して、大きくするなどの計画があるのか教えてほしい。

**【事務局】**

- ・現在、4～5 基の陸閘が設置されており、統廃合を行ったうえで作り変える予定である。

**【委員】**

- ・新規に陸閘を設置する場合、電動化は可能か教えてほしい。
- ・非常階段について、妊婦などの使用も踏まえ、誰もが使用しやすい形状等にしてほしい。

**【事務局】**

- ・陸閘は、基本的に電動化を検討している。
- ・非常階段は、可能な限り使いやすいものを設置する予定であるが、構造上の問題が生じる場合もあるため、今後の詳細設計時に検討する。

**■議事「今後の予定について」**

**【委員】**

- ・次回の第 3 回流域委員会が 5 月開催となる場合、委員が変更になると考えられるため、事前説明等の対応をお願いしたい。

**【事務局】**

- ・変更になった委員には、これまでの経緯を含め事前説明を実施する。

15 時 30 分閉会

以上